

つながる 水俣とベトナム

水俣からベトナムへ

昔、ベトナムのツーズー病院を訪問した。玄関には水俣から贈られた白いワゴン車が止まっていた。院内を案内され、分離手術で兄と別れ、車いすに乗ったドク君に会うことができた。ベト君とドク君は、ベトナム戦争で米軍が使用した枯葉剤（ダイオキシン）の影響で、下半身を共有し、つながって生まれた。ベト君が病気になる日本への助けを借りて、分離手術が行われた。

2人は出産直後にこの病院に放置され、院長のフォン先生をはじめ、病院スタッフに育てられた。ベト君は亡くなり、ドク君は成人後、病院の事務員として働き、結婚を機に社会での生活を始めた。45歳の現在も病院で働いている。

かつて「子どもが欲しいが、枯葉剤の影響に不安がある」とテレビ番組で語っていた。現在は、男女の双子と高校生の父親である。

地域人権教育指導員 末永知恵美

枯葉剤

戦争中、米軍は10年間にわたる枯葉剤を散布し続け、敵が隠れるジャングルを枯らし、農作物を奪った。

戦争終結後に、胎児に異常が現れた。背中や腹部がつながった2重胎児、頭の上半分がスパツと切られたように形成されていない「無脳症」の胎児、顎の下からもう一人の人間が癒着など、信じられない姿の胎児が病院地下室にホルマリソ漬け状態で保存してあるのを見た。

「どこぞたくさん写真を撮って日本の皆さんに知らせてください」と案内役のフォン先生は言われた。戦争中に特に散布が激しかった地区でこのような先天性障がいの子が多くみられたという。

四肢の異常など、命に関わらない子どもも多く生まれた。枯葉剤を直接体に浴びた母親、薬をかぶった食物を食べた母親を誰が責められよう。

ベトナムを訪問した  
坂本しのぶさん

水俣病の胎児性患者である坂本しのぶさんが病院を訪問し、胎児の姿を見て「私と同じ。でも、私は生まれてきた」「今まで水俣病から逃げたいと思っていたが、闘うと決意した」と、また、被害状況の調査や巡回検診用のワゴン車購入のために、しのぶさん自ら資金集めなどをを行ったということを数年前に初めて知った。

有害物質のために命を削られ、人生を狂わされた、生まれてくることすらできなかった多くの命。ベトナム戦争後55年経過してもなお、未だに多くの障がいを持つ子どもが生まれている。

2025年10月に、ドク君としのぶさん、フォン先生は再会している。戦争の犠牲になった物言わぬ胎児たちの姿に、闘うことを決意したしのぶさんの生き様に学びたい。

【問い合わせ先】菊池市消費生活センター ☎0968(36)9450  
(月)～(金)午前10時～正午、午後1時～4時(福祉課)

詐欺電話事例と対応策

悪質な詐欺電話が後を絶たず、金銭をだまし取られる事例が頻発しています。

■海外局番からの詐欺電話

「＋1」などの番号から始まる電話は海外の局番で、ほとんど悪質な詐欺電話です。

大手通信事業者を名乗り「電話料金が未納です」と不安をおおって、個人情報聞き取った後、電子的決済などで支払いを要求してきます。また、「電気料金未納です」など、さまざまな理由をつけてきます。

■配送業者をかたる詐欺電話

配送業者を名乗り、氏名などの個人情報をしつこく聞かれ、「あなたが送った荷物に現金が入っていた。現金を送るのは犯罪の可能性があるため、警察に電話を取り次ぐ」など、不安をおおき、お金を取る手口です。

■ニセ警察官からの詐欺電話

警察官を名乗り、「あなたの口座が不正利用され、あなたに逮捕状が出ている」と脅かして、無実を証明するために、現金を

振り込むよう要求してきます。

詐欺電話への対応策

▼個人情報 は絶対伝えない

警察や公的機関が、電話で暗証番号や口座番号などを聞くことは絶対にありません。

▼一人で判断しない

お金やキャッシュカードの話が出たら、振り込んだり渡したりする前に、必ず家族や警察に相談してください。

▼すぐに切って着信拒否

不審だと感じたなら、話の途中でも電話を切り、その番号を着信拒否にしてください。

▼知らない番号や非通知番号の電話には出ない

知らない番号からの電話はリスクが大きく、電話に出ると詐欺グループにだまされる可能性があります。

▼詐欺電話対策アプリを利用

警察庁などが推奨する無料の「詐欺電話対策アプリ」があります。スマートフォンにインストールして、ご活用ください。

◆シリーズ◆ 南北朝・菊池一族歴史街道 (25)

【問い合わせ先】観光振興課 ☎0968(25)7223

今から約650年前の9月、わずか3年の間に、17代菊池武朝による闘將の面目躍如といえる2つの戦いがありました。

◆水島の戦い

大宰府陥落後、勢いを増す今川了俊の軍勢を相手に、菊池勢は高良山より後退を余儀なくされていきました。天授元(1375)年4月8日、了俊は菊池勢を追って肥後へと入り、日岡城(山鹿市)に布陣します。その中には、九州の三大勢力である大友親世、島津氏久、少貳冬資の姿もありました。迎え撃つ武朝は、水島(台)の台城に陣を取りました。



台城址

◆託麻原の戦い

一触即発のにらみ合いが続く中、了俊による冬資暗殺という大事件が発生。これに激怒した氏久は、ただちに自軍を率いて薩摩へ帰ってしまいます。今川勢の動揺に乗じた菊池勢は、ここぞとばかりに攻撃を開始。9月8日、水島を舞台に戦いが繰り広げられました。

この戦いは、刀折れ矢尽き、落ちた矢を拾って射るというほどの激戦だったと伝えられています。島津という主力を失った今川勢は大敗を喫し、了俊は肥前の武雄まで総退却しました。武朝、13歳での大勝利でした。

水島の戦いの勝利で息を吹き返した武朝は、天授2(1376)年、後征西將軍良成親王や阿蘇惟武らとともに肥前へと進軍し、翌年、蟻打で大激戦を展開しますが惨敗。武朝と親王は命からがら菊池へと敗走します。了俊の軍勢は、勢いそのまま二人を追って肥後へと攻め入りました。天授4(1378)年9月18日、



天授勤皇戦跡の碑。両脇のレリーフには、武朝と良成親王らの奮戦の様子が彫られている

深掘り！ 菊池川流域日本遺産エピソード

【問い合わせ先】文化課 ☎0968(41)7515

伝説と文化を訪ねて【第6回】

◆灌漑施設

菊池川流域の米作りを支えているのが、ため池や用水路(井手)などの灌漑施設です。これらの施設によって水を安定的に得られるようになり、コメの収穫量は大きく増加しました。このため、ため池や井手のある地域の多くでは、現在でもその恩恵に感謝して祭りが行われています。

●遠山神社例祭【湯の口溜池】

(山鹿市蒲生) ため池を作った遠山弥二兵衛に感謝するため、地元の水利組合によって毎年4月4日に行われている祭りで、ため池の横にある遠山神社に関係者が集まり、神事を行います。

●御宇田どん祭り(殿さま祭り)

【御宇田井手】(山鹿市鹿本町津袋) 井手を造ったとされる御宇田光重の業績をたたえて、墓所に地元の人々が集まり、井手に対する感謝と豊作を祈願する祭ります。毎年田植えが終了した7月下旬に行われています。

●湯舟溜池

旭志湯舟の集落の南東、標高200mの高地に、湯舟溜池があります。嘉永6(1853)年に麓の湯舟や高柳、小原などの水田の灌漑用としてため池を造ることになりました。建設は、大津手永の惣庄屋山隈権兵衛の指揮の下行われましたが、なかなか工事が進まず、梅雨時には堤防が切れて、湯舟が洪水の被害に遭うこともありました。

そのようなことから、工事完成を祈願するために、人選を行って人柱を立てた逸話も残っています。権兵衛は工事の途中で病死し、息子の新左衛門が後を引き継ぎ、安政2(1855)年に完成しました。現在でも78畝の水田を潤しています。かつては人柱の供養塔があったとのことですが、現在は不明です。



湯舟溜池

ホームページでは、本シリーズをコラムや写真付きで掲載中です。

